導入検討プラン 13 / 次の価値を探る

挑戦を、試せる仕事と支援に変える

事業開発・技術企画

挑戦を促す取り組みがあり、提案を実際の試行へ進めたいとき。部署で既に整った支援を確かめ、資源・リスク・優先順位を誰が決めるかを具体化します。

> 目指す仕事の状態
>
> 提案者が合意した範囲で試し、顧客から得た事実をもとに、関係部門が継続・変更・見送りを判断できる。

当社が担う仕事

01 試す問いを絞る

既存の事業課題から、誰にどんな価値があるかを確かめる一件を選び、既知と未確認を分けます。

02 周囲の仕事を決める

技術の条件、使える資源、試す権限、次に判断する人をそろえ、提案者が担う範囲を明らかにします。

03 試行から案を更新する

相手が使ったことと使わなかった理由を整理し、価値の案と、継続に必要な支援を見直します。

最初に試す一件

検討中の提案を一つ選び、顧客に確かめる問いと試す形を決め、支援者・決裁者と条件をそろえて試行します。

導入と、実践後の確認

最初に確かめること

- 過去の提案は、どの時点で進み、どこで追加確認が必要でしたか。
- 技術の確認と、資源・優先順位の判断を誰が担いますか。
- 試行で得た事実を受け取り、次を決める人は誰ですか。

社内に残すもの

- 試す価値の案と、確かめる問い
- 提案者・支援者・決裁者の役割計画
- 継続・変更・見送りの判断材料

実践後に確かめること

- 実際に試せた内容と顧客から得た事実
- 次の意思決定が進んだ条件
- 提案者と支援者に生じた負担

一緒に進める人と役割

提案者 顧客接点を持つ人	相手の必要を確かめ、合意した範囲で試行します。
上司 隣接部門・意思決定者	資源・権限・専門条件を整え、試行後の判断を担います。
当社	問い、試す一件、支援の分担を設計し、反応からの見直しを支えます。

実施条件と、役割の範囲

試す相手、一定の裁量、支援者、試行後に判断する人を、開始前にそろえます。 専門技術と資源の決裁は担当部門が担います。試す権限と支援者を確保できない場合は、条件整備から始めます。

支援を組み立てる根拠

観察と試行で相手への見立てを更新する知見、実務と周囲の支援の設計を用います。事業の採算は別途検討します。

実務の確認・設計・実践支援の範囲に応じ、期間と費用をご提案します。

ご相談：requestgroup.jp/request

公開情報調査（2026年11月1日）から構成した検討案。

詳細を見る